

令和8年度習志野市災害医療本部及び病院前救護所設置運営訓練の概要（案）

1. 訓練日：令和8年度習志野市総合防災訓練開催日（例年11月日曜日）
2. 参加団体：習志野市医師会・習志野市歯科医師会・習志野市薬剤師会
習志野市アマチュア無線非常通信連絡会・市内災害拠点病院及び救急告示病院4病院
習志野保健所・習志野市健康支援課職員
3. 訓練会場：習志野市庁舎 GF 会議室・済生会習志野病院・津田沼中央総合病院・習志野第一病院
谷津保健病院・習志野保健所
4. 目的：
効果的な災害医療体制を検討するため、総合防災訓練に併せて、市内各病院において病院前救護所の設置・運営訓練を実施し、市災害医療本部及び各関係機関との情報連携や体制・機能を各自が理解するとともに課題を抽出する。
5. 到達目標：
 - （1）各病院で救護所を設置し、備蓄医薬品を受け取り、トリアージ、院内搬送の動線を確認する。
 - （2）病院・病院前救護所の役割分担と会場レイアウトの確認・修正を行い、各自が病院前救護所の体制・機能を理解する。
 - （3）必要物品を確認し、備蓄備品等を検討する。
6. 訓練想定：訓練日に習志野市直下を震源とする M7.3 の地震が発生し、習志野市では震度6強を観測

7. 訓練内容

時間経過	内容
発災時間	発災し、緊急メールを登録者へ送付
発災後10分経過	【災害医療本部・病院前救護所】 ・職員及び関係機関の参集状況確認 ・本部、救護所の設置開始 【病院前救護所】 ・備蓄医薬品の受け取り方法の確認
救護所設置から1時間経過	【災害医療本部】 ・周辺の安全状況を確認し情報収集をする。 ・本部、各病院とで重傷者搬送に関する情報伝達訓練 ・県に医薬品等の供給依頼 【病院前救護所】 ・傷病者の受入開始 ・トリアージタグ、紙カルテの記入方法を確認しながらトリアージを進める ・各トリアージ色の搬送の動線を黒子を中心に確認する。実際に院内へ搬送し確認する。（全員で対応）
訓練終了	・訓練の疑問点や不足している部分を反省としてあげる。

8. 病院への依頼事項

- （1）災害医療本部との無線を使用した情報伝達ができる体制
- （2）病院前救護所の設置報告及び定時報告を受理できる体制。
- （3）備蓄医薬品の引き渡し口の指定
- （4）トリアージ黄・赤の院内搬送に係る動線の確認ができる体制（外来等の対応）